

環境とのよりよい関わりを考え続ける児童の育成

～「ESDカレンダー」の活用を中心に～

校種・学年	小学校 第6学年	教科等	理科「生物のくらしと環境」
時間・学期(月)	6時間・2学期(11月)	副読本	P.14 光合成の図
準備等	食物連鎖の関連図 外来生物の写真資料		

1 わらい

人は、どのように他の生物と食物、空気、水と関わっていくかを考え、まとめることができる。

2 伸ばしたい資質・能力

- 自ら課題を発見し、情報を収集・整理・分析しながら、調査・観察したことをまとめ、伝える力
- 目的や相手に応じて、調査や記録をして調べたことを整理・分析し、地球の環境を守るために自分にできることを考える力
- 人や自然と積極的に関わり、探究活動を通して、自分の考えや見方を広げる力
- 身近な環境問題を自分ごととしてとらえ、活動を通して、生じた様々な課題を解決する力

3 指導計画(全6時間)

時間	主な学習活動・内容等
1	○ 生物と食物、空気、水との関わりについて考える。
1	○ 動物には、植物を食べて生きているものがあること、その動物もほかの動物に食べられることがあるなど、生物には「食べる」「食べられる」という関係があることを調べる。
	○ 生物の食べ物を通じた関わりについてまとめる。
1	○ 生物と水との関わりについて考え、まとめる。
	○ 自然の中で、水や空気がどのように循環しているかを考える。
2	○ 空気中に酸素を出している物は、何かを考え、植物が二酸化炭素を取り入れて酸素を出しているかを調べる。
	○ 生物と空気との関わりについてまとめる。
1	○ これまでの学習をもとに、人は、どのように他の生物と食物、空気、水と関わっていくかを考え、まとめる。

4 本時の学習指導(本時 6/6)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
	1 前時までの学習を振り返る。	○ 植物が日光から養分をつくり出す時に空気中から二酸化炭素を取り入れ酸素をつくり出していることをおさえる。 ○ 「人」も加え、「食べる」「食べられる」の関係について考えさせる。 ★ P.14 光合成の図 ○ 外来種によって、これまで保たれてきた「食べる」「食べられる」の関係が変化することを説明する。
	2 本時の学習課題をとらえる。	
	人は、どのように他の生物、食物、空気、水と関わっていくかを考えよう。	
	3 これまでの学習をもとに、生物と食物、空気、水との関わりを図にまとめる。(グループ活動)	
	4 植物のはたらきについて知る。	
	5 外来種の問題について知る。	
	6 本時のまとめをする。	
	7 次時の活動について知る。	



人は、他の生物と食物、空気、水と関わって生きているので、周りの環境のことを考え、よりよい環境になるよう生活していくことが大切です。

5 他教科等とのつながり	6 社会とのつながり
<ul style="list-style-type: none"> ○ 6年家庭科「暑い季節を快適に」 ○ 6年総合的な学習の時間「アスレンジャー修了大作戦」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の栽培ボランティアへのインタビュー ○ 家庭や地域の人たちとの対話

7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ESD カレンダー」により、他教科等とのつながりを明確にすることで、それぞれの関わりを深めていく。 ○ 自分の考えの変容が、具体的な行動にどう表れるかについて考え、「エコライフデー」を活用することで、実践化を図った。

8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など
<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生き物と自然との関わりについて深く考えられた。 ○ 人は、多くの生き物や、まわりの自然と、関わりあって生きていることがわかった。 <p>【参観者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちが主体性をもち、課題を解決している姿が見られた。 ○ 教科横断的に学びを深められる部分と、教科でおさえなければいけないところ、やりすぎではいけないところなど、丁寧に研究されていると感じた。 ○ 副読本の活用がよかった。

9 研究協議の内容
<p>【授業展開について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人と環境との共存について、今まで個別で学んできたことのまとめがしっかりなされていた。 ○ ESDで育みたい力が、子供たちに身に付いている。 ○ 外来種を取り扱ったことにより、次の授業につながるよいきっかけになった。 ○ ワークシートを活用して、身近な環境問題にふれてもよかった。 <p>【手立てについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートで、今までの環境の学習とのつながりを確認できた。 ○ 副読本を積極的に取り入れようとしている取り組みは素晴らしいと思った。また、こういうものがあるという勉強になった。 ○ 「まとめ」の授業であるので、子供たちが話し合いの中で考え学ぶ展開にしてもいいと思う。